

いきいきライフ

ラジオ講座テキスト

毎週日曜日 6:30～ 7:00 放送
 毎週土曜日 17:15～17:45 再放送
 FBCラジオ 嶺北 864kHz / FM 94.6MHz
 嶺南 1557kHz / FM 93.6MHz
 パソコン・スマートフォンから radiko や FBC-i で聴くこともできます。



荒島岳

令和五年一月

もくじ

学び強化月間 シリーズ④
今の社会問題・福祉課題について考えよう

- 一月八日放送（第四十回）
 買い物難民支援の取り組み…………… 2
 明倫買物クラブ代表 小西清光
- 一月十五日放送（第四十一回）
 ヤングケアラーの現状と背景…………… 4
 ヤングケアラー協会 理事 高垣内文也
- 一月二十二日放送（第四十二回）
 ジェンダーの視点で社会をみる
 ―教育の中のジェンダー不平等―…………… 7
 仁愛大学人間学部コミュニケーション学科
 准教授 織田 暁子
- 一月二十九日放送（第四十三回）
 中高年のハラスメント…………… 10
 特定社会保険労務士 福井県社会保険労務士会
 副会長 國久弘敏
- 感想文のコーナー…………… 12
- 文芸欄…………… 16

■一月八日放送(第四十回)

買い物難民支援の取り組み

明倫買い物クラブ代表 小西 清光

買い物難民といわれる方の支援は、各地で様々な取り組みがされてきています。地域住民同志による支え合い活動として、10年前に立ち上げた若狭町「明倫買い物クラブ」の取り組みを紹介します。

明倫地区は小浜線藤井駅周辺の3区であり、昨年度末の人口は842人、65歳以上の高齢化率は42%、75歳以上では24%と高齢化が進んでいます。10年ほど前には、地区内に小売店がすでに無くなり、移動手段のない高齢者等は買い物ができず困っていました。



平成22年、高齢者の所在不明・独居・孤立死等、高齢者の地域での孤立が次々と明らかになり、高齢者等の「買い物難民」が全国で600万人いると推計されました。高齢者等を支援する仕組み作りのため、国会では22年度補正予算で、「地域の日常的な支え合い活動の体制作り」を目的に200億円が計上され、福井県議会でも平成23年度6月補正で、「地域支え合い体制作り人材育成事業」として3億円が予算化されました。

業」として3億円が予算化されました。

若狭町では10地域(小学校区)ごとに、町長委託による「地域支えあい検討会」が設けられ、年度内に「支え合い体制の仕組みを検討し、地域課題を見つけ、その解決方法を報告」することになりました。

「明倫地域支え合い検討会」は、福祉関係者代表10名が10月に委託を受け、約5か月後の平成23年度末に3点の課題とその対応をまとめ報告しました。

〔課題1〕

独り暮らしの方の緊急時の情報が不明確で、迅速な対応がしにくい。(独自救急キットの作成配布と各戸に緊急連絡カードを設置する。いづれも検討委員の委託費で作成する)

〔課題2〕

移動手段に個人的に頼まれる送迎は事故が心配である。(組織で対応する。現行福祉バスルートを見直し、活用を図る。アンケートを行い、それを基に明倫独自の運行ルールを作成し実践する)

〔課題3〕

孤立しがちな人が話し相手を求めているが満たされない。(サロンの会活動で対応を図る)

救急キットは委員が必要と思う方の了解を得て90名に配布。福祉関係者による設置は好評で、次年度他の地区でも取り組まれ、経費は町支給となり、前年度分は返還されました。

24年度も「明倫地域支え合い検討会」は継続し、移動手段支援の検討を進めました。町福祉バスの運行変更はできず、独自の運行ルートを模索しました。7月に高島市マキ

ノ町で「マイカーでショッピングセンターへ送迎」が住民共助で実施されたと知り、自家用車の使用を検討しました。社協の無料貸し出し福祉車両(満タン返却)が使用でき、運転中の事故は「福祉車両の保険金の範囲内で補償され、運転中以外はボランティア活動保険で補償される」ということで、計画の具体化が一気に進みました。利用者も運転ボランティアでつくる団体名を「明倫買い物クラブ」とし、年度内にスタートし、問題点は見直しながら進めました。ガソリン代は利用者からの協力を充てるなどの大枠を決め、11月に検討会による全戸アンケートを実施。アンケート実施後「明倫地域支え合い検討会」は「明倫福祉支え合い会」と改名し活動を引き継ぎました。

「明倫福祉支え合い会」(平成24年12月より活動)で運行計画を作成しました。立ち上げ時の利用者は15名、運転ボランティア17名で、共に集落を基本にABCの3班に分け、同じ班同志で活動。毎週木曜日、午前9時発上中方面プラント2行き(片道約25分)と、午後1時発三方方面しピア行き(約8分)の2便で、買い物時間は約1時間半としました。協力は、救急キットの返還金と、明倫地域づくり協議会の助成が受けられる用途が立ち100円とし、平成25年3月8日に第1便がスタートしました。

運行2か月後の再アンケートで、利用者、運転者ボランティアとも増え、共に4班編成にして毎週木・金の2日(週4便)で運行することになり活動が本格化しました。利用者は毎週1回、しピアとプラント2へ交互に買い物に行き、ボランティアは月1回弱の運転が4年半続きました。

利用者が減り、平成30年に4班から3班に編成変えをし

て、週2日(3便)の運行を2年半続けました。その後も利用者は減少し、現在は利用者が11名、ボランティアが19名となり、3班編成のままで1班は休みとし、2班が週2日(2便)運行で活動しています。

運転ボランティアは社協で福祉車両に乗り換え、地区より利用者の送迎をします。金曜最後の運転者は明倫地域づくり協議会の支援員に2日分の協力を渡し、ガソリンを満タンにして車を返します。

買い物クラブの運営は初期には「福祉支え合い会」で行っていましたが、4班体制になってからは、3月ごとに運行の見直しをする運転ボランティアの班長会で行っています。隣のみそみ地区(人口約2000人)でも、平成26年度より「みそみ買い物メイト」が発足し活動しています。中断していますがボランティア同士の交流会も行っていました。

課題は運転ボランティアの高齢化です。ボランティアは利用者からは「ありがと」の声を聴くと、やりがいを感ずると聞いていますが、75歳までとお願しています。若い方で引き受けてくれる方が少なくなっています。住民共助の「明倫買い物クラブ」が続くように声掛けをしていきたいと思っています。

講師略歴……小西 清光(こにし きよみつ)

昭和41年福井大卒。県内で教職後平成16年定年退職。NPO法人敦賀すくすく療育会理事長13年間。若狭ものづくり美学舎10年間。明倫買い物クラブ代表(平成25年3月より)。藤井健康づくりの会代表(平成26年4月より)。福井県剣道連盟副会長17年間。

■一月十五日放送(第四十一回)

ヤングケアラーの現状と背景

ヤングケアラー協会 理事 高垣内 文也

ヤングケアラーの問題は昨今、メディアなどで取り上げられることも多くなり注目度が増えています。本講座では、ヤングケアラーの概要や、これまで出てきたヤングケアラーの事例をもとに、どのような対応方法が望ましいかをお伝えしたいと思います。

【定義】

ヤングケアラーというと多くの方が18歳以下の人を想像すると思いますが、法令上の定義はまだ存在していません。日本での定義として有名なのは「日本ケアラー連盟」が発表しているもので、以下の通りです。

◆日本の定義(日本ケアラー連盟発表)

「家族のケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事

や家族の世話、介護、感情面のサポートを行なっている、18歳未満の子ども」また、概ね18歳から30歳代の若者を、「若者ケアラー」と呼ぶ。

諸外国の状況として、イギリスとオーストラリアの状況を紹介します。イギリスはヤングケアラー支援が最も進んでいる国の一つとされており、すでに定義が法令化されています。オーストラリアは支援団体が発表したものです。疾患対象が明確化され、また、対象年齢も日本やイギリスとは違っています。

◆イギリスの定義(法令化)

「他の人にケアを提供している、または提供しようとしている18歳未満の者(ボランティアまたは契約に基づく者を除く)」

◆オーストラリアの定義(支援団体発表)

「ヤングケアラーとは、障がいや、精神的な疾患、慢性的な疾患を有している、薬物依存である、または虚弱な年齢の、家族や友人に無報酬のケアやサポートを提供している25歳以下の者」

ヤングケアラーと一言で言ってもその対象疾患や年齢などはそれぞれのケースで違っており、何歳までを支援の対象とするか、ケアの範囲をどこまでとするかなどが



議論の最中です。例えば、認知症の祖父母を介護している人と精神疾患の親を介護している人では、その状況も課題も異なってきます。

【ヤングケアラーの人数】

ヤングケアラーが実際にどの程度いるのか紹介します。厚生労働省の調査の結果、各年代におけるヤングケアラーの数は概ね以下の通りです。

小学生…15人に1人(6・5%)
 中学生…17人に1人(5・7%)
 高校生…24人に1人(4・1%)
 大学生…16人に1人(6・2%)

【ヤングケアラーが普段行っている介護】

先にも述べたとおりヤングケアラーの状況はそれぞれですが、一般的にヤングケアラーが行っているとされる介護の代表例です。

- ・ 身体的なケア(看病、見守り、トイレの介助など)
- ・ 精神的な介護(話し相手になる、愚痴を聞くなど)
- ・ 幼い兄弟の世話をしている
- ・ 家計を支えるために労働をして助けている
- ・ 買い物、料理、掃除、洗濯などの家事をしている

【ヤングケアラーが諦めてしまっていること】

ヤングケアラーはその状況から、様々なことを諦めてしまっています。代表的なものは以下の通りです。

- ・ 勉強や受験、進学
- ・ 部活などの課外授業
- ・ 友達と放課後に遊ぶこと
- ・ 子供らしく自由に夢を描くこと
- ・ 理解されること、気軽に相談すること
- ・ 自分だけの時間をもつこと

【ヤングケアラーをどのように見つけていくのか】

ヤングケアラーは自分をヤングケアラーだと認識していないケースも多く、見つけるのは非常に困難です。一般的には以下のような変化が現れるとされていますが、子どもの些細な行動変容に注目することが大事です。

- ・ 遅刻や欠席、早退が多い
- ・ 身だしなみが整っていない
- ・ 病院や薬局につきそっている
- ・ 日中に家にいることが多い
- ・ 年齢に比較して大人びている
- ・ 買い物などで外出している姿をよく見かける
- ・ 家庭の事情でアルバイトをしている

【ヤングケアラー問題の背景】

ヤングケアラーが増加している背景としては、次のことが考えられます。

核家族化、高齢化、ひとり親世帯の増加などの人口構造、家族形態の変化に加え、雇用・労働状況、社会福祉制度の仕組み、地域関係の希薄化などが背景にあり、大人だけでケアを担うことが限界になっています。本来であれば家族や地域で介護を行っていたものが、家族や地域の力が弱くなってしまふことで子ども世帯のケア負担が増加しています。家族のケアをするのはケアラーであるが、そのケアラーをサポートする体制が整っていないことも大きな課題です。

【当事者の事例から考える支援の方法】

ヤングケアラーと一言で言ってもその状況は多岐にわたることは先に述べたとおりですが、支援の緊急度についても様々です。

例えばネグレクトや貧困世帯など、すぐにでも支援が必要なヤングケアラーがいる一方、支援の手は入っているけれども孤独を感じていたり、モヤモヤを感じていたりする人もいます。

前者はすぐにでも支援が必要であり、行政機関などと連携して支援を行っていく必要があります。後者は必ずしもすぐに支援が必要というわけではありませんが、年齢の変化

に応じて課題が顕在化することがあります。例えば小学生のヤングケアラーがいたとして、その子が中学生になった時、高校生になった時ではその子の感情も、周囲の状況も変化しています。小学生の時は課題に感じていなかったことが、年齢を重ねていき、状況が変わることによって課題が顕在化してくることもあります。

重要なのはヤングケアラーの人生をその時の点ではなく線で見ることであり、課題が顕在化した時に相談のつたり、気付いてあげられる体制を整えておくことです。そのためには信頼関係の構築が必要であり、信頼関係の構築のためには、ヤングケアラーとの定期的な接点構築が必要です。ヤングケアラーは18歳をこえたら介護がなくなるわけではなく、課題がなくなるわけでもありません。ヤングケアラーの人生を長期的にサポートするための体制構築が必要です。

~~~~~  
講師略歴……高垣内 文也(たかがいと ふみや)

元ヤングケアラー(若者ケアラー)。20歳の時に祖母がアルツハイマー型認知症と診断され、約10年間介護に関わる。個人での活動を経て、ヤングケアラー協会の理念に共感し参画。外資系製薬会社2社にて勤務した後、現在は認知症をはじめとした医療・ヘルスケア分野の事業開発にも携わる。経産省「始動Next Innovator」7期生。

■二月二十二日放送 (第四十二回)

ジェンダーの視点で社会をみる  
— 教育の中のジェンダー不平等 —

仁愛大学人間学部「コミュニケーション学科」  
准教授

織田 暁子

■ジェンダーの視点で社会を見る

近年、ニュースなどで「ジェンダー」という言葉を耳にする機会が増えてきました。国連が定める国際目標であるSDGs 持続可能な開発目標の17のゴールの中にも、目標5番「ジェンダー平等を実現しよう」が入っています。ジェンダー平等な社会を実現することは、国際的にも重要な課題となっています。では、ジェンダーとは、どのような意味でしょう。内閣府男女共同参画局によると、次のように説明されています。

社会通念や慣習の中には、社会によって作り上げられた

「男性像」、「女性像」があり、

このような男性、女性の別を「社会的・文化的に形成された性別」(ジェンダー／gender)という。「社会的・文化的に形成された性別」は、それ自体に



良い、悪いの価値を含むものではなく、国際的にも使われている。」(第5次男女共同参画基本計画 用語解説)

つまり、ジェンダーとは、社会的な性別のことです。日常的には、男らしさや女らしさ、性別役割といった意味で使われることもあります。ジェンダーという用語それ自体には、価値判断は含まれていませんが、ジェンダーという視点によって、性別による固定的なものの見方に疑問を投げかけました。現代社会において、ジェンダーが存在すること自体が問題とされているわけではありません。問題は、ジェンダーによる偏見が、差別や排除、不利益に結び付いていることです。

■教育の中の「かかれたカリキュラム」

では、子どもたちの教育を例にとつて考えてみることにします。教育は、ジェンダー平等の価値観を広める役割を果たす一方で、「かかれたカリキュラム」によって、ジェンダー規範を再生産するという力もあります。かかれたカリキュラムとは、教科として定められたカリキュラムとは異なり、学校で行われる活動や、教師の態度など、意識されない日常実践によって伝達されるカリキュラムのことです。男女は不平等であるべきだと明文化されてはいなくとも、学校の中の制度や教師の態度、考え方の中に、不平等な価値観や規範が潜んでいることがあります。

たとえば、保育園や幼稚園で、「お父さん座り」「お母さん座り」といった言葉が使われることがあります。お父さん座りは胡坐、お母さん座りは正座のことを指します。この言葉は子どもたちにわかりやすく伝えようとして使う言葉であり、男らしさ、女らしさを教えるようという意図があるとは限らないでしょう。しかしこういった言葉を通じて、子どもたちは、お父さんらしさ、男らしさ、男はこうあるのが当たり前だ、という価値観を学ぶことにつながります。ほかにも、男女別に分かれることがあまりにもあたりまえであること、男の子は青、女の子はピンクのシールで色分け「男の子用のおもちゃ」など、性別の「らしさ」は、子どもたちの日常生活の中にあふれています。近年、従来の男女別の制服を変更し、新しい制服を導入する学校も増えてきています。共通の制服のデザインであったり、スカートやスラックス、リボンやネクタイを選択できたりするといったものです。しかしこうした学校がすべてではなかったり、また実際に自由に選択することが難しかったり、課題は残っています。

### ■進路選択とジェンダー

教師の期待や態度が、男女で異なることもあります。女子には、良い子、静か、協力的であることが求められる一方で、男子は、創造的で、活発で、自主的であることが求められます。こうして学校教育の中で「腕白な男子」と「分

別ある女子」が期待され、褒められる中で、子どもたちも教師の期待やふるまいから、求められる男性像、女性像を学んでいくのです。こうした期待は、進路選択においても無縁ではありません。受験や進学指導において、男子に対してはもっとがんばれ、一方、女子には、無理せずこそこでよい、というメッセージを送るといった傾向があります。学校、先生、親という子どもを取り巻く周りの大人たちが、こうしたメッセージを送り続けることで、女子は男子と比べて「高望みしない安全な受験」を行い、結果的に男子の方が「いい学校」を多く受験するという傾向もあります。もっとも2018年に発覚した医学部不正入試問題では、女子受験生が不当に不合格とされてきたことが明らかになりました。教師の期待や態度だけでなく、組織的に女性差別が行なわれている事例もあります。

進路選択においては、タテの格差だけでなく、ヨコの格差たとえば専攻分野にも差があります。大学の学部において、男子は理系、または法学・経済学・公法にすすみ、女子は文系、とくに文学・芸術学、または保健分野にすむという傾向があります。男女で向いていることが異なるという考えによって、実際にそのような選択が多くなされていると指摘されています。進路選択という重要な場面においても、ジェンダーによる偏見が、人生の選択肢を狭めている可能性があります。



■思いやりではなく、人権としてのジェンダー平等

教育の場面だけを見ても、ジェンダーによるさまざまな違いがあります。労働、政治などあらゆる場面において、ジェンダーによる偏見が、中核的な立場からの女性の排除につながったり、男性に過度な期待が寄せられたりしています。しかし、そこに「女性を差別したい」という明確な意思を持つ人、それを自覚している人は、どれだけいるでしょうか。

最近、『差別はたいてい悪意のない人がする』(キム・シへ著、尹怡景訳、2021年、大月書店)や『差別は思いやりでは解決しない』(神谷悠一、2022年、集英社新書)といったタイトルの本が出版されています。差別は、悪意があるか、意図的であるかは問題ではありません。属性によって不当な取り扱いがなされることは、差別です。

しばしばジェンダー平等のためには、男女が互いを思いやり、尊重することが大切である、と語られます。しかし、ジェンダーによる偏見にもとづいた思いやりは、むしろジェンダーの不平等を強化することもあります。大切なことは、まず、自分がもっている先入観や偏見に気づくこと、そして、差別の構造に自分も加担していることを自覚することです。ジェンダーによる偏見は、幼いころから、私たちの生活の中にあふれています。本来、性別に関わらず、

自由に選択できるはずの道を、性別によって制限されていることは、人権の問題です。ジェンダー平等な社会のためには、ジェンダーの視点について学び、偏見に気づき、社会の構造をジェンダーの視点で見つめ直すことが重要であると思います。

SDGs 17の目標5番



5 ジェンダー平等を  
実現しよう



講師略歴……織田 暁子(おだ あきこ)

福井県出身。京都大学大学院文学研究科博士後期課程研究指導認定退学。2016年、仁愛大学人間学部「コミュニケーションシヨン学科講師。2020年より准教授。専門は社会学、ジェンダー。

市民団体「E.L.L.Y福井」のメンバーとして、福井で、誰もが安心して日常生活を送り、生きたい道を選ぶよう、多様な性に関して、声を行政に伝えること、情報発信、他団体との情報交換、地元での啓発活動に取り組んでいる。

## ■一月二十九日放送(第四十三回)

### 中高年のハラスメント

特定社会保険労務士  
福井県社会保険労務士会副会長 國久弘敏

世の中に「ハラスメント」という言葉が認知されて久しいですが、ハラスメントとはどのような意味を持つ言葉なのでしょう？ハラスメントとは、いじめ、いやがらせのことをいいます。他者に対する発言や行動が、本人の思いと関係なく、相手に不快感を与えたり、尊厳を傷つけたり、脅威を感じさせるような行為のことを指しています。相手がハラスメントだと感じてしまうと、その言動はハラスメントになってしまう危険性があります。

最近では、セクハラ、パワーハラ、マタハラ、オワハラ、モラハラ等々、数えきれないほどのハラスメントが定義されており、自分自身も知らないうちにその加害者となってしまう可能性もあります。



日本の社会でハラスメントがここまで大きく取り上げられることになったのは、職場におけるセクシャルハラスメントがきっかけであるといわれています。性的な嫌がらせ

を意味するセクシャルハラスメントは、1989年に職場でのセクハラとして裁判が起こされ、同じ年に新語・流行語大賞に選ばれるなど、一気に世の中に知れ渡るようになりました。その後、法律により定義されることになりました。

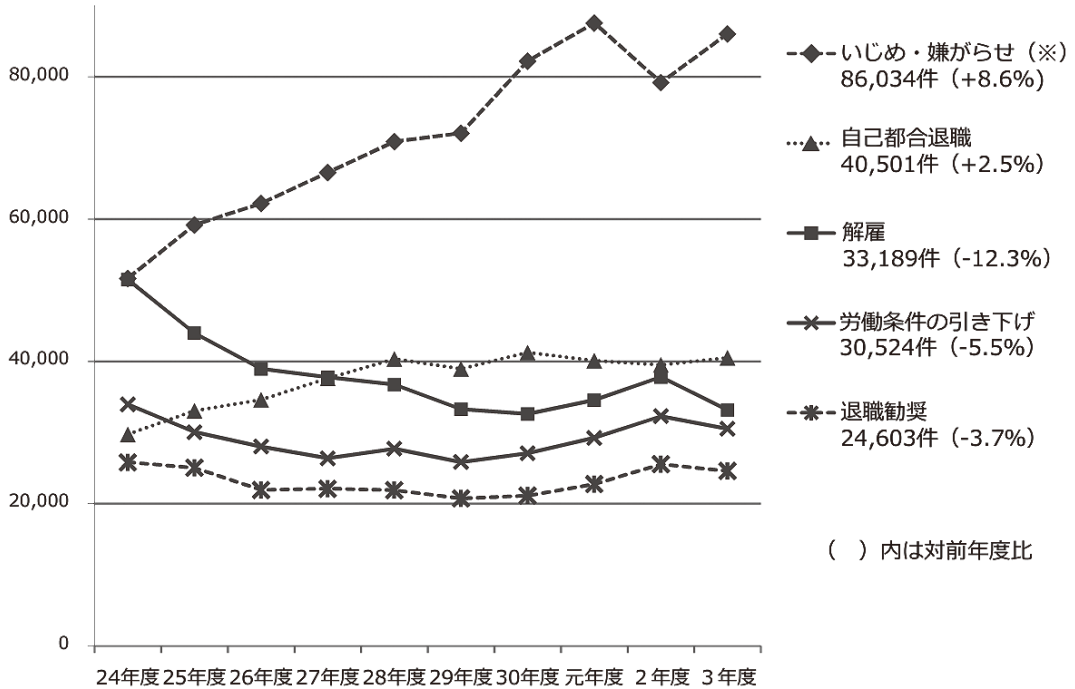
また、職場におけるハラスメントとして、パワーハラスメントやマタニティハラスメントも多く報告されるようになり、いくつもの裁判が行われ、現在では男女雇用機会均等法や労働施策総合推進法などの法律改正により、企業においてその対策が義務化されています。

本年7月に厚生労働省から発表された令和3年度個別労働紛争解決制度の施行状況(図1)によると、職場での紛争では「いじめ、嫌がらせ」が引き続き最多となっており、ハラスメントへの対策が職場においても重要な課題であることがわかります。

一方、職場以外の日常生活を振り返ってみますと、家庭内においてはDVやネグレクト、社会においてはあおり運転やSNSによる誹謗など、「いじめ・いやがらせ」と考えられる行為が日常茶飯事に発生している状況であり、これらによって傷つく人々が多く存在することは想像に難くありません。

中高年は特に注意が必要です。役職を降りたり、会社を定年退職したりと自身の環境が変化したにも関わらず、家庭内上司を演じてしまい、知らず知らずのうちにモラルハラスメントが起こってしまうこともあります。

(図1)



では、なぜこのようなハラスメントが起きるのでしょうか。労務行政研究所の調査によると、30代前半より若い層は、周囲のハラスメントへの認識も高く、また自分がハラスメント言動を行ったという認識も高い傾向にあり、50代前半は、周囲への認識は高いものの、当人がハラスメント言動を行ったという認識は小さく、そのギャップが大きくなっているとの報告があります。

ハラスメントの要因として、「相手が自分のことを理解しているだろう」という勘違い、「自分の価値観の押し付け」「思いやりの欠如」「コミュニケーションの不足」などが挙げられますが、中高年のハラスメントについては、ハラスメントに対する認識が低いため発生しやすいと考えられます。

先に述べたように、他者への言動が本人の意図と関係なくハラスメントと感じられてしまうのは、他者との人間関係の深さ、つまり他者との心の距離が関係しているといえます。まったく同じ言動を心の距離の違う人に与えたときに、心の距離の近い人はハラスメントと感じず、心の距離が遠い人にはハラスメントと感じられてしまうこともあるでしょう。残念ながら心の距離を測るモノサシはありません。私たちは他人との心の距離がどれくらいあるのかを正確に測ることはできません。

ただ、心の距離と身体的な間隔は比例すると考えられるので、身体的な間隔（距離）が近くできるならば心の距離も近いと考えることができるでしょう。また一方では、心の距離が近すぎれば依存、遠すぎれば無関心ということを

考えると、適切な心の距離を保つことも必要です。

令和の時代を迎えて、多様性を認める世の中になってきています。この多様性が重視される社会において、異質なものを認め受け入れる感覚を身に着けていくことが非常に重要です。特に中高年の場合は、仕事以外での人間関係をたくさん構築することが重要です。

具体的には、趣味の時間を作る、地域活動に参加する、夫婦の時間を増やすなどでしょう。様々な人と交流を深め、多くのコミュニケーションをとることで、他の人を通じて自分というものが見えてくるでしょうし、自分と他人の違いもわかってくるでしょう。つまり、他者を認める寛大な心を育てていくことができます。さらに自分の立ち位置が見えてくれば、いろいろな人との心の距離も感覚的にわかるようになってきます。モノサシで測ることのできない他者との心の距離が少しでもわかることができれば、豊かな人間関係が醸成され、無用なハラスメントの発生を防ぐこともできるはずです。

#### 講師略歴……… 國久 弘敏 (くにひさ ひろとく)

くにひさ社労士事務所 所長 マインドアップ株式会社 代表取締役  
長年勤めた医療事務経験を生かして医療・介護に精通した社労士として活動。得意分野は、賃金制度や評価制度など人事制度全般

## 感想文のコーナー



このコーナーは、受講生の皆様から寄せられた感想文を紹介いたします。紙面の都合上、すべての感想文を紹介できないことをご容赦ください。

#### ■十一月六日放送(第三十二回)

バラで彩る人生  
バラの魅力で世界が広がる

坂本 千恵子 先生の感想文より

#### ▼酒井 匠(八十四番)

坂本先生はバラの栽培を始めて40年余り、自宅の庭とハウスなどで400種以上、約500株のバラを育てておられ、今までに「福井都市景観賞」他「国際バラとガーデニングショウ」等々大賞を受賞されました。多くの労力と研究工夫が必要だったことでしょう。

バラの種類は4万種以上。色、花の形、香りの違いがあり、栽培の条件によって1株でたくさんの花を咲かせるもの、1年に何度も咲く品種があるなど、個性豊かなバラについて多くのことを知ることができました。

妻は鉢植えでバラを育てて花を楽しんでいます。日当たりのこと、水やり、肥料等工夫しています。春になりましたら二人で先生のハウスを見学に行きたいと思っています。

#### ▼竹内 多美子(四十番)

庭に一本の深紅のバラがあります。15年程前「福井県バラ会」の方にもらったもので地植えしてあります。一年に二回以上花を咲かせています。急に成長したかと思うと固



いつぼみが膨らんで色づき始め、開花した時は花の女王らしく豪華で見事なこと…。一日、二日で花びらが散りかけ、いつの間にかあたり一面に花びらが散り、はかない命に憐れみさえ感じます。

今日は坂本先生のバラ栽培の一端をお聞きし、私は花への愛情が足りないかと反省しました。バラの木の剪定の仕方はわからず、もったった時のままで花付きがよくない。害虫対策は全くしていない。水管理に至っては心配りしたことがない。無いはずくめでも花時になれば花を咲かせてくれる!!全く花に感謝の境地です。

坂本先生はバラ栽培を生涯の趣味にされて40年。「花」の美しさで「栽培」から広がる「人生のつながり」に魅了されておられます。春と秋にはオープンガーデンに取り組まれています。感動するガーデンに仕上げられるのは大変なご苦労があると思われます。400種、500株もの栽培にご家族の協力があつてこそ成しえることであろうと思われます。来春訪問できる機会があればと待ち遠しくなりました。

#### ▼氏家 光代 (五十番)

先日、ゆりの里へバラを見に行き、色々な種類の美しいバラを眺めてきました。

近所の方も花づくりが大好きで小バラなどを育てています。バラの他にも季節の花などもあり育て方が上手です。

土作りから肥料配合の仕方、水やりなど大変なようです。坂本先生のお庭を見学に行つて感激したそうです。私にも花作りを勧めてくれますが草取りが苦手な私にはなかなか難しい。毎日彼女の花作りの様子を眺めることで心を和ま

せてもらっています。バラの花は高貴な花だと思いました。

#### ■十一月十三日放送 (第三十三回)

#### 映画館のない山里の映画資料室の話

村上 正純 先生の感想文より

#### ▼福岡 隆夫 (二百二十八番)

『懐かしの映画』映写会が市文化センターや芸術館で定期的に行われていて、都合がつく限り一人ででも鑑賞している。それは午前中から夕方近くまで4本立てで、行われることもあり、終わると軽い疲労感を覚える。自分が所有するDVDの中にあつても観る。演歌や歌謡曲それに童謡、唱歌も同じだと思つが、心が揺さぶられ忘れてはならない何かが入ってくるからだ。

いつか一人でゆっくりと鑑賞する時が来るのではと歌と邦画のDVDを集めている。目下は邦画である。プロジェクトからスクリーンに映している。9月の町内高齢者サロンで、所有のDVDでの鑑賞会を行った。できたらまた一緒に観てみたいと思う。高齢者の自分たちが、今伝えておくべきことを映画の中から思い起すことができればいいなと思つている。

#### ▼大下 敏雄 (二百二十九番)

私の幼い頃の映画館の思い出は、家から歩いて1時間ほどの所にあつた駅前小さな映画館です。館内はたばこの煙が舞つ小屋でした。美空ひばりの股旅ものの邦画を父親と一緒に観た記憶があります。

高校時代に洋画と出会い、自分が興味を持ったのはスクリーンミュージックでした。サウンドトラックの音楽をためにオーブンデッキやカセットデッキに録音して、時に再生して楽しんでいました。音響機器の進化で今は何も残っていません。

お話で驚いたのは、多くの人たちに貴重な資料を数多く残されていることです。まさに自己実現の極み、素晴らし生き方だと思えます。

#### ▼上屋敷 洋子 (百八十番)

昔懐かしいお話です。私も時代劇をよく見に行ったものです。松竹、東映、新東宝の映画が上映され、片岡千恵蔵、中村錦之助、大川橋蔵等のスターが活躍し、男の子は棒を持って切り合い、勝敗をつけて遊んでいました。座席は空気が無く立ち見で帰りましたが、今は様変わりしました。昔のように映画館で時代物を見てみたいです。

#### ■十一月二十日放送 (第三十四回)

##### 手仕事の美しさを次世代へ

針と糸で描く刺し子へ

五島 万里代 先生の感想文より

#### ▼西尾 桂子 (百七十七番)

一枚の布を大切に。傷んだところは刺し子をして補強し、何枚もの布を重ね合わせて丈夫にまた保温が効くようにする。布が命尽きるまで……。昔の日本人なら誰しもこのようにものを大切にしていたと思う。しかし、現代は？刺し子は、今叫ばれている「持続可能な社会」への有力な

手段の一つであろう。

藍色の布地に白い糸で刺す刺し子。「モダン刺し子」越前町の動画を拝見したが、藍地さっくりの背半分が白い麻の葉模様で占められ、美しかった。

昔、私の村でも大人は「さっくり」という作業着で仕事をしていた。あれは、先生が言われたものと同じだろうか。薄い藍色だったが、刺し子の有無は定かではない。

先生は刺し子歴五十年。「母の背中を見て育った」と言われるようにお母様の訓育がある。お話をお聞きして、手仕事は、担い手の努力があつて初めて連続と続いていくものだった。この美しい日本文化を、先生はじめ麻の葉会の皆様ですつと続けていって頂きたいと願う。

#### ▼齊藤 智恵子 (二十五番)

私の父は公務員でしたが、日曜日等、外の仕事をする時には必ず「刺し子さっくり」を着ていました。今日「さっくり」という言葉を聞いて70〜80年前の我が家の生活を思い出し懐かしい気持ちになりました。

「さっくり」は紺色で普通の布より厚く重い感じがしましたが、寒い時には重宝したろうと思います。着替えの部屋に父の「さっくり」が三枚ほどいつも釘にかけてありました。薄破れになりそうな「肘」「お尻」のあたりに刺し子が施してありました。テキスト8ページの先生のお写真の幾何学模様のような刺し子もありました。

昔の特に農家の主婦は、昼は田・畑に出て働き、夜は遅くまでこうした衣服の繕い物等の夜なべをして、生活を支えてきたのですね。刺し子は当時の貧しい生活には当然必要な技だったと思えます。

テキストの刺し子作品はきれいですね。北前船と大波小波でしょうか。胸がすっきりするようなデザインで見飽きない気がします。作品展があることを知りませんでした。次の開催時にはぜひ見学したいと思います。

▼松村 政子(六十二番)

写真の「北前船の刺し子さっくり」、おしゃれですね。私も以前刺し子をしていました。クッションやサロンエプロン、テーブルセンター、コタツ掛け等を親しい人にあげたりもしました。中には長く使っているうちに糸が攀れて傷んでしまったものもあります。縫い物は苦手な私ですが描かれた線を根気よく縫っていました。

先生の教え通り、刺し子は誠心をも養ってくれるものだと思います。我が家では娘の頃から使っている針箱を手元に置き、ボタン付けや繕いものなどをしています。「麻の葉会」の継続、継承を願っております。

■十一月二十七日放送(第三十五回)

いくつになっても夢は叶う プロトランペッターの夢を叶えた  
トップセールスマンからの転身

谷口 浩和 先生の感想文より

▼前川 嘉津子(二百十八番)

やりたいと決めたトランペットの夢を叶えることができるとは、なんと素晴らしい事なのでしょう。谷口先生は努力を続け自分の信念を貫き通し、仕事も趣味もどちらも一生懸命にやり、夢のトランペッターになりました。

しかし、その夢も「家庭はどこにあるの」と言われた奥

様や周りの協力があればこそだと思います。夢を実現するにもやはり周りの人たちの押しがあったからだろうと思います。谷口先生にはそれだけの感動を呼ぶトランペッター奏者としての素晴らしさが備わっていたのでしょう。

ラジオから聴こえた人生をかけたトランペットの音色は、感動を呼ぶ音色でした。力強く響き渡る、流れるような演奏に私ももっと聴きたいと思いました。

▼杉下 信夫(八十八番)

人生は一度きり、思い切って53歳から自分の夢に向かって転身されたとのこと、すばらしい生き方です。

結婚式で演奏された「風に立つライオン」もきれいな音色で感動的でした。最近のユーチューブで見ました。

トランペットヒーローズを結成して、二人で活動しておられるのも心強いことだろうと思われれます。

福井弁をまじえた飾らない語り口で、とても好感がもてました。なお、私も、定年後に健康マーシャンが趣味になって、いつの間にか10年経ちました。ドキドキする瞬間もあって、生きる楽しみであり、生きがいになっています。



文芸欄

俳句

煩惱をひとつ減らして今年酒  
初暦めくれば八十路鈴鳴らす

前川 康子 (二十四番)

赤ちゃんの前歯一ミリ初笑い  
四捨五入すれば好い人根深汁

高石 まゆみ (百六十五番)

エプロンを外し私のお正月  
ピンチでもチャンスあるはず実南天

中山 慶子 (二百八番)



短歌

自転車でいつものルートを逆に行くだけで  
景色が違って見える  
夕食後しばらく仮眠とりたれば  
また元気出て散歩に行きぬ

杉下 信夫 (八十八番)

川柳

大声の「ただいまー」いやす向かいの兎  
負けず手を高く振り上げ「おかえり」  
隠しても色付き知らず柚たわわ

谷川 好枝 (四番)

社用族自腹で食べて腹痛に  
狸寝で見た情報を大化けさす (起業成功者)  
食遺産発表待ちに胃散飲む (\*ユネスコの「食の無形文化遺産」指定のこと)

山下 博 (七十四番)

発行所 (福) 福井県社会福祉協議会

〒910-1852 福井市光陽 1-3-22

電話 (0776) 241-4331  
FAX (0776) 241-0041